

ニュースリリース 報道関係者各位

2018年6月15日

20代~50代の女性400人に聞く、「アレルギー症状とダニの被害に関する調査」

# そのアレルギー症状、ダニが原因かも? 約6割の人が「ダニを原因とする」アレルギーの可能性あり ~症状が出る前に、早めにダニ対策を~

アース製薬株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川端克宜)は、さまざまなアレルギー症状を引き起こすダニの被害について、全国の女性400人に対して調査を行いました。アレルギー症状がある本人に、アレルギーの原因を聞いたところ「ダニ」が14.6%で、ダニが含まれる「ハウスダスト(ほこり)」も42.8%もおり、この2つの原因を足した約6割もの人が「ダニを原因とする」アレルギー症状を持つ可能性があることがわかりました。家庭内のダニは目に見えないため、症状がひどくなる前にしっかり対策をして、家族が心地よく暮らせる環境を整えたいですね。主な調査結果は以下のとおりです。

#### 【調査結果サマリー】

#### アレルギー症状のある人の約6割が「ダニを原因とするアレルギー」だった

→ 鼻水やくしゃみなどのアレルギー症状のある人は約4割もいました。アレルギーの原因を聞いたところ、花粉症をあげる人が8割と圧倒的に高いものの、ダニが原因でアレルギー症状を起こすと回答した人が、意外に多いことがわかりました。
約6割の人が、ダニが含まれる「ハウスダスト(ほこり)」および「ダニ」をアレルギーの原因と推定していました。

## アレルギー症状が出ていても、医療受診は半数程度。何も対処せず

「アレルギー症状」が出ており、その原因についても推定しているにも関わらず、実際に医者の診断を受けた割合は、自分自身のアレルギーについては4割、家族のアレルギーについて5割に留まりました。深刻な症状ではないと自分で判断してしまっているために、適切なアレルギー対策ができていない可能性があります。

# 「ダニが小児ぜんそくの主な原因になる」ことは知られていない!

→ 「ダニが小児ぜんそくの主な原因になる」ということをご存知でしたか?この事実を知っているのは1割にも達しませんでした。 「布団干しの際に布団をたたくことはダニ対策として効果が薄い」、「布団の天日干しでは生きたダニは殺せない」のいずれも 約4割程度に比べると、ダニが小児ぜんそくの原因になることは知られていないようです。

特に小さなお子さんがいる家庭では、小児ぜんそくの症状が出たり、症状がひどくなる前に正しい対策を取ることが大切です。



環境アレルゲン info and care 代表取締役 白井秀治 先生 さまざま症状を引き起こすアレルギー。花粉ほどではありませんが、ダニが原因でアレルギーが起こると推定する割合は、少なくない、ということがわかりました。アレルギー症状がある人のうち、約6割が、ダニが含まれる「ハウスダスト(ほこり)」および「ダニ」がアレルギーの原因と推定しています。ダニは小さな生き物で、対策が遅れがちになるため、ご家庭で効果的なダニ対策に取り組まれる事が望まれます。

[調査概要]・調査期間:2018年4月23日(月)~4月24日(火)

・調査方法:インターネット調査

・調査対象エリア:全国

・調査対象者: 20~59歳の一般女性 N=400

ダニの生態と駆除対策情報は、手軽なダニ対策を紹介する アース製薬の生活情報「Dannyでチェック」

http://danny.press

Danny 検索

検索

消費者の方のお問合せ アース製薬株式会社 お客様窓口 0120-81-6456

# 「ダニを原因とする」アレルギー症状をもつ人は意外に多い!

#### アレルギー症状のある約6割の人が「ダニを原因とするアレルギー」だった

20~50代女性の中で、アレルギーがあると回答した人は39.3%もいました(図1)。ご自分のアレルギーの原因を聞いたところ、最も高いのが「花粉」で79.6%と、予想通りの高い結果でした。次点で、ダニが含まれる「ハウスダスト(ほこり)」が42.8%、「ダニ」も14.6%おり、この2つの原因を足した約6割と、意外に多くの人が「ダニを原因とする」アレルギー症状を持つ可能性があることがわかりました(図2)。

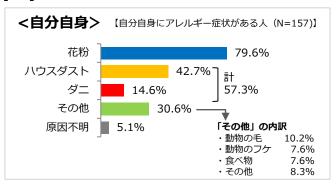
#### [図1] アレルギー症状の有無

【20~59歳の一般女性(N=400)】

# アレルギー症状あり 39.3% (N=157)

アレルギー症状なし 60.8% (N=246)

#### [図2] アレルギー症状の原因についての推定(複数回答)

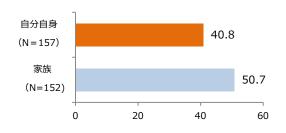


#### アレルギー症状が出ていても、医療受診は半数程度。何も対処せず。

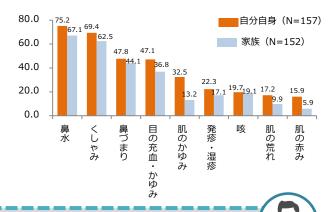
しかし、実際に医者に診断に行った人は、自分自身40.8%、家族50.7%に過ぎず、

ほぼ半数が自己判断のみで過ごしているようです(図3)。鼻水やくしゃみなどのアレルギー症状の原因は花粉症で深刻ではないからと考えて、医者にも行かず、そのまま生活している可能性が高いことがわかりました。

#### [図3]1年以内に発症した アレルギー症状についての 医療機関での診断率



#### [図4]1年以内に発症した アレルギー症状



屋外でアレルギーの原因となるものには、主として花粉が考えられます。

一方、住まいの中では、回答の上位にあるハウスダストとよばれるホコリがあり、

このホコリの中に含まれる主要なものは、ダニです。

ダニは肉眼でその姿を見つけることはできませんが、住まいの中から見つかります。

医療機関への受診が低い印象ですが、アレルギーが気になる場合には、

医療機関を受診するとともに、原因について医師に相談することが大切だと思われます。

環境アレルゲン info and care 代表取締役 白井秀治 先生

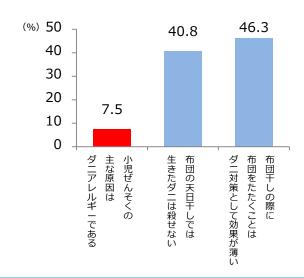
# 「ダニが小児ぜんそくの主な原因になる」ことは知られていない!

## 「ダニが小児ぜんそくの原因になること」を知っている人は1割に満たない。

ダニに関する情報を複数提示して、知っているものを聞いたところ、「布団干しの際に布団をたたくことはダニ対策として効果が薄い」が46.3%、「布団の天日干しでは生きたダニは殺せない」の40.8%が上位でした。もっとも知られていなかったのは、「小児ぜんそくの主な原因はダニアレルギーである」7.5%でした(図5)。子どもの気管支ぜんそくの多くはダニが原因と言われており、子どもの年齢が小さいほどかかりやすいようです。

## [図5]「ダニに関する情報」で知っていること

【20~59歳の一般女性(N=400)】



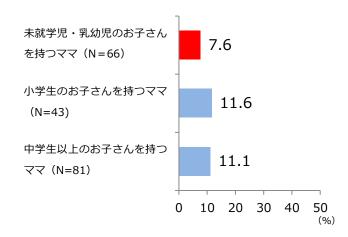
## 子育て中のママの中でも、特に「乳幼児・未就学児を持つママ」は、知らない人が多い。

「ダニが小児ぜんそくの原因になること」について、 子どもの成長ごとにお母親さんの認知率の違いをみてみ ました。

すると、最も子どもに気をつけなくてはいけない「乳幼児や未就学児の子を持つ母親」が最も理解が薄く、わずか7.6%でした(図6)。

新米ママはまだまだ覚えることがたくさんあり、 ダニ対策は後回しになりがちですが、 大切な家族を守るためにも、ダニに対する正しい知識や 対処方法を頭に入れておくことが大切です。

#### [図6]「ダニが小児ぜんそくの原因であること」の認知率



ダニに対してアレルギーを持つ割合は、乳幼児から未就学児、そして小学生へと成長していく中で高くなり、気管支喘息などアレルギー症状を持つ小学生以降の子どもの9割を超えることが報告されています。ダニは住まいの中の寝具を始め私たちの身の回りで繁殖していきます。 ダニ対策の正しい知識が普及することが望まれます。

環境アレルゲン info and care 代表取締役 白井秀治 先生

# Danny

検索

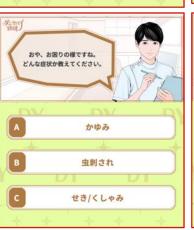


お困りのその症状、実はダニのせいかも? 設問に答えるだけで簡単診断! 正しいダニ対策を啓発する情報サイト「Danny」にて 「ダニヤバイ診断」公開中!

http://danny.press/symptom/diagnose/











お肌のかゆみや、せき/くしゃみなどの気になる症状を選択形式で回答していくことで、症状の原因がダニかどうかを判定できる診断コンテンツです。

お悩みの事項として「かゆみ」「虫刺され」「せき/くしゃみ」のいずれかを選び、 患部の詳細な症状を画面に従って選択していくことで、ダニによる症状かどうかを簡 単に判定。さらに、どのような種類のダニが原因なのか、ダニに刺された際の一般的 な症状や潜伏期間、対処法を教えてくれます。